

2019年度 マイコンレーサー (Micom Racer) 北海道大会 「競技規則」

コースVer8: 2019.10.4 作成

競技: マイコン搭載の自走式マシン(車)を2台併走させ、タイムを競う。

1、基本ルール:

- (1)、マシンは「マイコンレーサー2」(マルツエレクトリック製)を使用する。
- (2)、規定内のコースにマシンを2台自走併走させ、各マシンのタイムを競う。
- (3)、コースの材質・塗料は、白="1"(LED消灯)、黒="0"(LED点灯)の判別が出来、走行に著しく支障が出ない材質・塗料であれば、どんな材質・塗料でもよい。白の背景色に、 $2\text{cm} \pm 0.2\text{cm}$ 幅の黒線が引いてあり(但し、*クロスは幅、角度は任意)、この黒線走行ラインを判断してマシンが自走する。隣との走行ラインコース間隔は、 10cm 以上離す。コースを分離して製作した場合のジョイント部分の間隔と段差は、 1mm 以内とする。
- (4)、ポイント1のスタートライン(START)は、幅 $2\text{cm} \pm 0.2\text{cm}$ 、長さ $20\text{cm} \pm 0.2\text{cm}$ の黒色の横線上にマシンのセンサを置いてマシンの電源をONにし、リセットSWを押下し、マシンをスタートさせる。
(完走とは、例えばAコースのマシンが、Aコースのスタートラインに帰還してきた場合を、完走とする。帰還してきたスタートラインをフィニッシュライン(FINISH)と呼ぶ)
- (5)、ポイント2は、クランク(直角)コースである。
クランクコース手前 $15\text{cm} \pm 0.2\text{cm}$ に、幅 $2\text{cm} \pm 0.2\text{cm}$ 、長さ $5\text{cm} \pm 0.2\text{cm}$ の横線が左右に2本引いてある(走行ラインから左 $5\text{cm} \pm 0.2\text{cm}$ 、右 $5\text{cm} \pm 0.2\text{cm}$)。さらに $3\text{cm} \pm 0.2\text{cm}$ 進むと、もう1本、幅 $2\text{cm} \pm 0.2\text{cm}$ 、長さ $5\text{cm} \pm 0.2\text{cm}$ の横線が左右に2本引いてある。(走行ラインから左 $5\text{cm} \pm 0.2\text{cm}$ 、右 $5\text{cm} \pm 0.2\text{cm}$)の黒色横線と、計2本の黒色ラインが引いてある。クランクコースは、右クランクと、左クランクの両方がある。
- (6)、ポイント3は、S字カーブコースである。
最小半径は任意とする。
- (7)、ポイント4は、*クロスである。黒線走行ライン幅、角度は、任意とする。
- (8)、電源及びエネルギー源は、単四アルカリ乾電池 及び 単四二次電池、2本以内とする。
- (9)、マシンが脱輪した場合と、マシンの改造発覚があった場合は、失格とする。
脱輪とは、マシンが白のベース板から外れた場合、相手コースに侵入した場合と、逆走した場合である。
- (10)、 $10\text{cm} \times 4\text{cm}$ のコピー用紙上にマシンのタイヤ2個を載せ、マシンを持ち上げても、コピー用紙が持ち上がらないこと。
- (11)、規定コース内を、お互いのマシンが走行時、アクシデントで追突、脱輪などが発生した場合、または発生のおそれがあり、走行を中断した場合には、審判の判断により、お互いのマシンは再競技ができる。
- (12)、大会開催ごとに、走行コース長、ポイント2~4の設置数(設置しないポイントもあり)が変わる。

観戦者・報道関係者に対するお願い:

LEDセンサ(光センサ)を使用するため、強外光(直射日光、フラッシュ撮影)により、LEDセンサの"消灯"、"点灯"判別に、誤動作を起こす場合がありますので、カメラ、ビデオ機器他のフラッシュ撮影は禁止とします。

2、コースレイアウト:

